

もしもカードを 持ち歩きましょう！

もしもカードとは？

高齢者等が「もしも」に備えて、自分のことや自分をよく知る人を相手に伝えることができ、緊急時に情報共有ができるカードです。
大分市と大分市連合医師会が作成しました。
ぜひご利用ください。

「もしもカード」を持ち歩くと安心です

日頃

「もしも」に備えて、自分のことをよく知る人の連絡先を記入し、財布やお薬手帳など、いつも持ち歩くものと一緒に保管します。



緊急時

救急隊などが、「もしも」の時には記載の連絡先に電話をします。医療情報（処方薬・既往歴など）や生活の状況が分かり、スムーズな救急搬送、治療につながります。



外出先や突然体調が悪くなった時

スムーズな救急搬送・治療につながります。



道に迷ったり、名前や連絡先が言えない時

家族などへすぐ連絡ができます。



1年に1回は、情報を見直しましょう！

もしもカード

大分市 / 大分市連合医師会

記入日： 年 月 日

ふりがな氏名 _____

生年月日 年 月 日

住 所 _____

一番に連絡してほしい人は _____ です。

連絡先 _____

かかりつけ医療機関 _____

連絡先 _____

担当ケアマネジャー _____

事業所名 _____

連絡先 _____

ミシン目を切り取り、よく持ち歩く財布等にに入れておきましょう。

もしもカードに関する相談窓口

高齢者等が緊急時「もしも」に備えて、自分のことや自分のことをよく知る人を相手に伝えることができるカードです。

もしもカードに関することは、以下にお問合せください。

大分市連合医師会 在宅医療部 大分市在宅医療・介護連携支援センター

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療と介護を結びつけるため、在宅医療・介護に関する相談や啓発、医療・介護関係者の研修・検討会、ネットワークづくりなどを行っています。

TEL : 097-529-7851

月～金曜日 9:00～17:00（祝日・お盆・年末年始を除く）

高齢者の相談窓口

地域包括支援センター

高齢者の総合相談窓口として、中学校区を基本として23ヶ所設置されています。「介護」「福祉」「保健」「医療」など、さまざまな面から地域で暮らす高齢者を支援いたします。

詳しくは、大分市長寿福祉課までお問い合わせください。

TEL : 097-537-5746

月～金曜日 8:30～17:15（祝日・休日および12月29日から1月3日を除く）

↓真ん中から折って、保管してください。

1年に1回は
情報を見直しましょう。

【記入の仕方】

- ①一番に連絡してほしい人
家族や親族、友人等で、緊急時の対応が可能な人を記入しましょう。記入していることを伝えておきましょう。
- ②かかりつけ医療機関
定期的にかかっている医療機関を記入しましょう。病気やお薬のことをよく知っている医療機関が望ましいです。
- ③担当ケアマネジャー
介護保険サービスを利用中の人は、生活の様子を知っている担当ケアマネジャーの名前を記入しましょう。



もしもの時の
緊急時
情報共有
カード



中面に私の情報が記載されていますので、確認ください